

# 献血Webサービス ラブブラッド会員大募集中♪

1. 全国どこでも献血予約できる!
2. カードデザインが選べる!
3. ポイントを貯めて記念品と交換!
4. 検査通知が早い!



# Blood Information

ブラッド・インフォメーション

献血月間情報 2022年5月号

〔発行元〕岩手県赤十字血液センター献血推進課  
〒020-0831 岩手県盛岡市三本柳6-1-6  
TEL: 019-637-7201

## CONTENTS

- ✓【稀血】は本当に存在する!?
- ✓岩手県内最多献血回数929回、今松哲美さん最後の献血

## TOPICS

### 【稀血】は本当に存在する!?

稀血—あまり聞き慣れない言葉ですが、中高年以降の世代が、この言葉を聞いて真っ先に思い浮かぶのは「Rh陰性（マイナス）」ではないでしょうか。

しかし、若者たちの世代では稀血といえば、近年大ヒットした「鬼滅の刃」です。鬼との戦いを描いた作品ですが、人間を食らって生きる鬼たちの好物が“稀血の人間”なのです。

漫画の世界とはだいぶ違いますが、現実にもまれな血液をもつ人がいます。私たちにもなじみのある血液型といえば、「ABO血液型」と「Rh血液型」。輸血の際にはこれらが一致した血液を使用することが基本です。

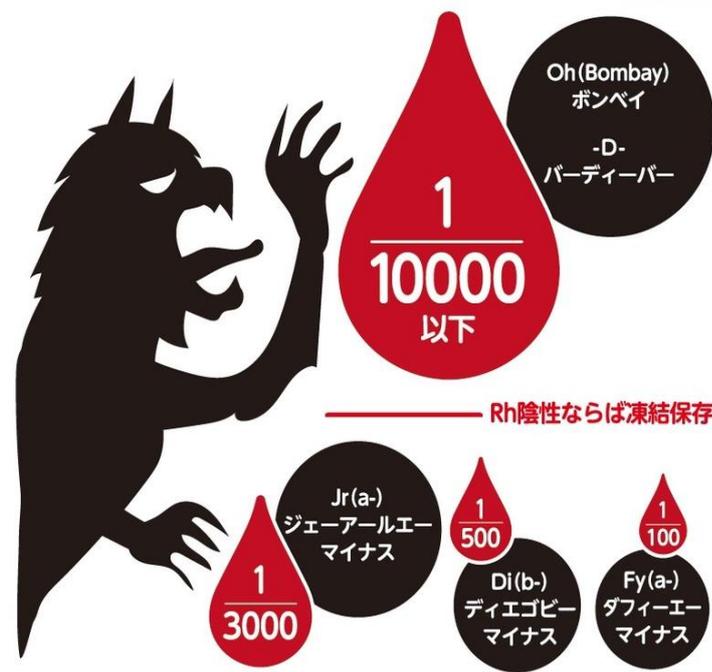
先述した「Rh陰性」は日本では0.5%程度と少ないものの、欧米では15%を超える国もあります。まれな血液型とは、

おおむね出現頻度が1%以下のものでOh（ボンベイ）や-D-（バーディーバー）など、現在20種類以上とされています。あまりに少ないため、輸血の際に支障をきたすことのないように、まれな血液の一部は血液センターでマイナス80℃以下に凍結保存され、その保存期間が10年のものも存在します。赤十字では輸血において、まれな血液型が必要となった場合は、あらかじめ冷凍保存している同型の血液を使用するほか、同型の血液型の方をお願いをして血液の確保に努めています。



【日本の献血血液における、まれな血液型の一例】

凍結保存



日本赤十字社ホームページ【献血まるわかり辞典】vol.1「稀血／まれな血液」 [https://www.jrc.or.jp/about/publication/news/20220411\\_025312.html](https://www.jrc.or.jp/about/publication/news/20220411_025312.html)より引用



献血をした回数の岩手県内最多記録を持つ今松哲美さん（69）が5月18日、もりおか献血ルームメルシーにて最後の献血を行いました。

献血ができるのは、国の基準で69歳までとされています。19日に70歳の誕生日を迎える今松さんにとって、今回が最後の献血です。今松さんは19歳で初めて献血をし、2013年には728回という県内の最多回数を更新してからも献血を続けていただきました。

今松さんからは、「人のためと思うのではなく、自分の健康管理のために気軽に献血をしてほしい」というお言葉をいただきました。

これまでの多大なるご功労に敬意を表し、職員一同心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。



## Twitterはじめました！

岩手県赤十字血液センターのTwitter公式アカウントができました🐦

献血に関する情報、岩手県内での献血日程スケジュール、健康や献血に関する豆知識など、みなさまの日常に役立つ情報もお届けしていきます。

より多くの方に献血を知っていただくためにも、ぜひフォローをよろしくお願いたします！

#献血 #岩手

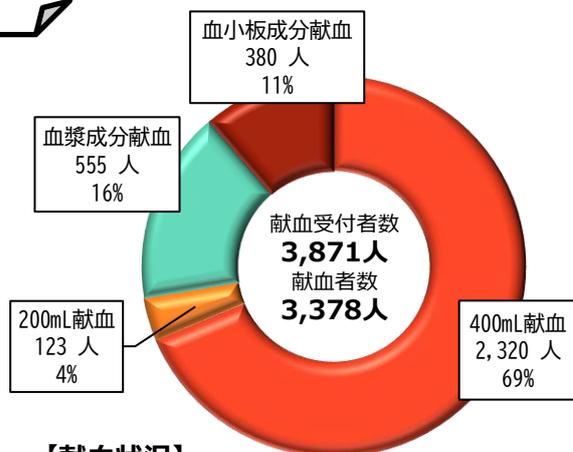
フォローお待ちしております♪



## Data

### 岩手県の献血・供給状況（4月）

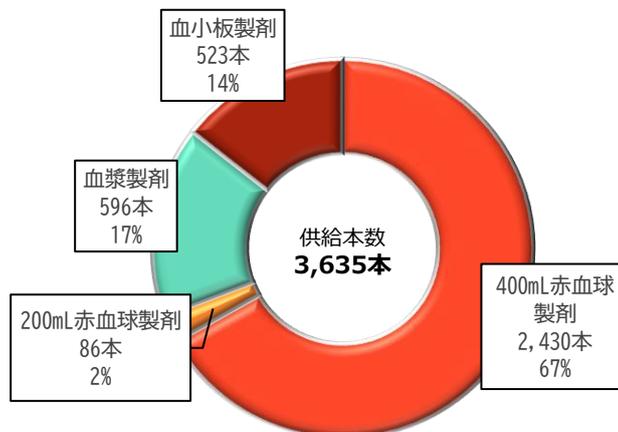
#### 岩手県の献血状況



#### 【献血状況】

全血献血は200mL換算で**4,763本**、400mL献血率（400mL献血者数／全血献血者数）は**94.9%**でした。

#### 岩手県の供給状況



#### 【供給状況】

血漿製剤は血漿成分献血からだけではなく、200mL献血や400mL献血からも作られています。

ホームページでも閲覧できます。

岩手県赤十字血液センターホームページ <https://www.bs.jrc.or.jp/th/iwate/index.html>

**Blood Information**  
ブラッド・インフォメーション  
献血月刊情報